

2026（令和8）年4月16日
中野区介護サービス事業所連絡会

2026（令和8）年度
中野区介護サービス事業所連絡会総会：次第

1. 開 会

(1) 会長挨拶

(2) 来賓挨拶 中野区長 酒井 直人 氏

中野区地域支えあい推進部長（地域包括ケア推進担当部長兼務）
滝瀬 裕之 氏

中野区介護保険課長 會田 智浩 氏

(3) 中野区議会議員団各会派紹介

2. 第1部 総会（午後6時15分から）

(1) 議長選出

(2) 議案の提出

(3) 審議

①第1号議案

2025（令和7）年度事業報告・決算（案）について

②第2号議案

2026（令和8）年度事業計画・予算（案）について

③第3号議案

運営委員の選出（案）について

④第4号議案

規約の改正（案）について

3. 第2部 講演会（午後7時15分から）

(1) 来賓挨拶 中野区医師会 会長 宇野 真二 氏

(2) 講演会

テーマ：「人生の最終章を考える ACP について」

講師：みやびハート&ケアクリニック 渡邊 雅貴 様

4. 閉 会 （午後8時05分終了予定）

※閉会后、参加者同士で名刺交換会を行います。この機会に事業所同士の交流を深めましょう。当日は、名刺を持参ください。

2025（令和7）年度事業報告（案）

I. 2025（令和7）年度 事業報告総括

令和7年度は、介護現場の人材確保が一層厳しくなり、経営環境が悪化して倒産する事業所が多くなる一方で、今後はさらに後期高齢者が増えるため、介護需要が伸びることで、介護業界にとってはさらに課題が増えていきます。

令和7年度の中野区介護サービス事業所連絡会の取り組みとして、介護人材の定着を目指し、長年勤務された介護職員に対する「区長賞」の表彰を継続して行い、勤続を称えました。また、東京都福祉人材センターからの依頼で「フクシを知ろう！なんでもセミナー」に講師を派遣し、介護現場で働いている介護職員が、介護の仕事の魅力とやりがいを高校生に伝えました。令和7年度は東京都立稔ヶ丘高等学校と大妻中野高等学校の2校に講義を行い、将来介護に携わるきっかけとなるよう、介護人材確保の一環として活動しました。このほか、「介護の日」を通して介護の魅力発信や動画制作などに取り組み、学生だけでなく、広く区民に向けて介護の魅力を発信しました。

さらに、例年実施している中野区との意見交換や区議会議員との政策懇談会では、介護現場の実務的な課題を取り上げ、「介護認定結果の遅れによる区民への影響」や「物価高騰による支援の継続」等に関する意見交換をすることで、少しずつ改善の兆しがみられるようになりましたが、残された課題については次年度に引き続き議論を重ねていきます。

最後に、中野区介護サービス事業所連絡会が設立23年を経過し、会員数の伸び悩みもあるなかで、令和7年度の重要活動目標を達成するために規約見直しチームを運営委員の中で立ち上げ、規約の見直しを行いました。介護サービス事業所連絡会の組織運営について役員や担当者が循環し、体制の若返りや活性化が図れるように取り組みました。

令和7年度の重要活動目標として

1. 中野区介護サービス事業所連絡会の規約見直し
2. 会間、地域団体との交流の継続と関係づくりの進化
3. 部会長の交流会
4. 中野区との意見交換会の継続と課題改善のための勉強会の実践

この4つを掲げ、達成に向けて、①研修チーム、②広報チーム、③介護の魅力発信チーム、④規約見直しチームに分けて運営委員と活動を行いました。

以下に主な活動実績を報告します。

① 研修チーム

令和7年度は事業所向け及び区民の方向けの研修を1回ずつ(計2回)企画しました。事業所向け・区民の方向けともに現状の課題に即し、内容に関心を持っていただけるテーマを研修チームで検討し、「生成 AI の活用方法について」「介護を始めるにあたって～突然来る介護のために必要な知識や情報を知っておこう～」といったテーマで専門分野の方を講師に迎え、研修を開催しました。両内容とも馴染みがない方に対して分かりやすいものとなっており、とても良いものとなりましたが、参加人数を多く集められなかったことがあり、告知を含む集客方法に課題が残りました。

令和8年度は、この課題をクリアした上で内容もより良いものにしていき、区民の方や介護事業所の方に還元できる研修の提供を目指していきます。

② 広報チーム

○広報誌作成

年間4回(6月、9月、12月、3月)発行しました。できるだけチームメンバーの負担を軽減するため、発行月ごとにリーダーを決め、メンバーの役割分担を行い、定期発行を行いました。完成時に会員事業所へFAXのほか、ホームページへの掲載、介護の日などでの配布などを行いました。

○令和8年度の取り組みとして以下の内容を行います。

- ・年間4回の発行を継続する。
- ・介護サービス事業所連絡会の日々の活動や新規会員事業所の紹介を行い、会員事業所の紹介の取材を通して新たな人材発掘や加入促進の機会とします。
- ・大切だと思われる情報を収集・提供し、会員事業所の利益につなげます。
- ・介護サービス事業所連絡会の活動や地域貢献活動を会員事業所だけでなく、関係機関に情報提供します。

③ 介護の魅力発信チーム

○「介護の日」イベント開催・実施

中野区と共催で開催する介護の日イベントは、新区役所庁舎にて2年目の開催となりました。11月6日、7日の二日間にわたり開催し、各日多くの区民にご参加いただきました。

令和7年度は新たな試みも多く実施され、ゲームイベントやパーゴラエリアの活用によって、より新庁舎にふさわしいクオリティのイベントとなりました。

○介護の魅力発信動画の作成

④ 規約見直しチーム

介護支援専門員部会役員、訪問介護部会役員、訪問看護部会役員、グループホーム部役員、福祉用具部会役員、施設部会役員、副会長2名からなるチームで規約見直しの検討会議を数回にわたり行い、新宿区、台東区、神奈川区の規約を参考に検討を進めました。具

体的には組織運営の若返りと活性化が図れるよう、各項目について文言の追加や変更など、必要な部分を確認しながらたたき台を作成し、運営会議で意見を出し合い、見直しを重ねて総会に提出する準備を行いました。

【実績報告】

- 中野区関係係との意見交換
- 中野区議会各会派と予算要望意見交換
- 中野区研修への関わり
- 物価高騰対策支援金支給へ寄与
- 中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催（第3回）
- 中野区役所庁舎内で「介護の日イベント」開催（中野区との共同開催）
- 区民に向け「介護の日イベント」で介護の魅力を発信
- 中野区役所ナカノのナカニワパネル展示
- 中野駅ガード下ギャラリー夢通り 小規模多機能部会パネル展示
- 東京都福祉局「フクシを知ろう！なんでもセミナー」（東京都立稔ヶ丘高等学校、大妻中野高等学校）へ講師派遣（正副会長、訪問介護部会、通所介護部会、福祉用具・住宅改修部会）

以上のように、令和7年度は、長年の取り組みを継続するもの、そして課題に対して新たな視点で取り組むものなど、経験を糧に、未来を創る視点で、当会運営委員を中心に、各部会、会員事業所と一致団結して活動しました。

また、下表の会議に本会会員を推薦・派遣し、関係各所との連携を図りました。

中野区健康福祉審議会委員
中野区地域包括支援センター運営協議会委員
中野区高齢者・障害者虐待対応連絡会委員
中野区成年後見制度連携推進協議会委員
中野区社会福祉協議会評議員
いきいきプラン推進委員会委員
中部すこやか福祉センター地域ケア会議
南部すこやか福祉センター地域ケア会議
北部すこやか福祉センター地域ケア会議
鷺宮すこやか福祉センター地域ケア会議
中野区地域包括ケア推進会議在宅療養推進部会委員
中野区社会福祉協議会ほほえみサービス事業運営委員
中野区介護認定審査会委員
中野区在宅療養推進協議会委員

II. 基調講演、全体研修、区との共催研修・事業等の実施状況

1. 当会主催の講演会及び全体研修

事業名	開催日	テーマ・講師	参加者
総会	4月18日(金)	中野区医師会館開催(正会員事業所 総会出席:58 事業所、委任状:46事業所) 基調講演会 テーマ:「中野区の認知症対策」 講師:医療法人社団朋友会 宮嶋メディカルクリニ ック 宮嶋 剛氏	103名
全体研修	10月27日(月)	中野区介護サービス事業所連絡会 全体研修 「介護DX化について～生成AIの活用方法につい て(入門編)」 講師 株式会社アカリエ 若橋 綾氏	中野区産業振興 センター 3F 大会議室 20名 オンライン 20名
全体研修	3月30日(月)	中野区介護サービス事業所連絡会 全体研修 「介護を始めるにあたって～突然くる介護ため に必要な知識や情報を知っておこう～」 講師 中野区本町地域包括支援センター 鈴木 靖夫氏	スマイルなかの 3回 AB 会議室 8名 オンライン 11名

2. 中野区と当会の共催研修 (9回)

事業名	開催日	研修テーマ	参加者
第1回 介護支援 専門員研修	8月27日	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実践 と意義	99名 (51事業所)
第2回 介護支援 専門員研修	2月26日	今さら聞けない! ケアマネのための法令&倫理 の実践講座	85名 (53事業所)
地域ケアマネ支援 研修	2月16日	モヤモヤ対応からの脱却! “家族との関係づく り”再点検	76名 (50事業所)
サービス提供責任 者研修	10月16日	サービス提供責任者に必要な初任者への対応の あり方～スーパービジョンの視点を踏まえて～	8名 (5事業所)
ケアマネジャー・ サービス提供責任 者研修	1月27日	「医学知識」 アイフレイル	63名 (41事業所)
介護従事者研修	11月27日	「介護技術」 その“ヒヤリ”を防ぐ力!現場で使えるリスク マネジメント	6名 (5事業所)
介護従事者研修	10月24日	「実務・実践研修」 事例から学ぶカスハラ困難事例への対応策	21名 (16事業所)
介護従事者研修	9月11日	「認知症ケア」 “その行動には理由がある”認知症高齢者のリ スクを理解して支える	27名 (22事業所)

介護従事者研修	7月24日	「その他」 BCPの研修と訓練の方法	49名 (42事業所)
---------	-------	-----------------------	----------------

Ⅲ. 各部会活動

1. 介護支援専門員部会

令和7年度活動

1. 地域連携担当(ケアマネジャーの地位向上)
2. 研修担当(ケアマネジャーの資質向上)

(令和7年度役員体制)

役職・役割	氏名	事業所
会長(日本介護支援専門員連盟担当)	宮原 和道	NPOピクニックケア
副会長(ケアマネ相談担当)	三枝 麻美	NPOピクニックケア
副会長(事業所連絡会担当・会計)	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
	田中 文子	朝焼け中野事業所
	鶴田 初美	ケアサポートすずらん
	前島 慎也	しらさぎ介護保険センター
	西尾 紀明	中野北地域包括支援センター
	和田 和子	桜フローラル
CMAT 担当	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと
区西部緩和ケア・事務局担当	廣野 紗矢香	ケアプロ在宅支援センター東京
	益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所
	生沼 順子	中野地域包括支援センター

	布川 文子	グリーンケア中野
	皆川 明美	あおば

(令和7年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4月	定例役員会 4/17 オンライン会議	事業所連絡会総会 4/18
5月	定例役員会 5/15 オンライン会議	
6月	定例役員会 6/19 オンライン会議	
7月	定例役員会 7/17 オンライン会議	
8月		
9月	定例役員会 9/18 オンライン会議	
10月	定例役員会 10/16 オンライン会議	主任ケアマネ連絡会 10/16 オンライン研修(講師:南チーム担当)
11月	定例役員会 11/20 オンライン会議	日本介護支援専門員協会 20周年記念大会 日本介護支援専門員連盟総会 介護の日相談窓口 11/6.7 パネル展 相談窓口 11/25.26.27 中野区総合防災訓練 11/9.16
12月		主任ケアマネ連絡会 12/18 オンライン研修(北チーム主任担当)
1月	定例役員会 1/15 会場会議	
2月	定例役員会 2/19 オンライン会議	
3月	役員会 3/19 オンライン会議	

※役員会及び研修は、法定研修に沿いオンラインを優先とする

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		

広報費		4,494	
研修講師費		30,000	
振込手数料・雑費		550	
合計	50,000	35,044	14,956

○介護支援専門員部会活動総括

令和7年度は、ケアマネジャーの減少が進む中においても、区民が適切に介護保険サービスを利用できないことがないよう、業務の効率化、専門職としての魅力発信、地域への普及啓発に取り組みました。

年度初め、現任の介護支援専門員を対象にアンケートを実施し、業務上の課題とニーズを把握しました。その結果を踏まえ、働きやすい環境づくりや人材確保・離職防止に向けた課題を整理し、活動の方針を明確化しました。

また、2025年問題・2040年問題を見据え、行政機関および関係団体との「縦の連携」、多職種・地域団体との「横の連携」を意識し、連携体制の確認と強化に努めました。

1. 地域連携担当(ケアマネジャーの地位向上)

ケアマネジャーの社会的地位向上および役割理解の促進を目的として、広報活動及び地域参加を行いました。

中野区主催の介護の日、パネル展におけるケアマネジャーの介護相談窓口の設置や、総合防災訓練、地域の防災訓練に協力し、ケアマネジャーの役割を地域へ周知するとともに、他部会および行政機関に対しケアマネジャーの機能・専門性について理解の促進を図りました。

2. 研修担当(ケアマネジャーの資質向上)

主任ケアマネジャー連絡会の運営や研修を実施し、地域全体のケアマネジメント力の向上を図りました。

また、地域包括支援センターとシャドウワークの可視化をテーマとした研修を共催し、業務負担軽減に向けた課題共有、効率化に向けた検討を行いました。介護DX化の推進については、具体的な仕組みづくりの実現に向け引き続き課題とし取り組んでまいります。

今後も東京都介護支援専門員研究協議会、日本介護支援専門員協会、日本介護支援専門員連盟との連携を継続し、制度動向の把握および情報共有、連携の強化に努めます。

2. 訪問介護部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長(研修)&会計	畑野 由樹	ケアリッツ中野
副会長(認知症)	戸澤 由希子	ケアセンター希
副会長(交流会)	江田 舞	介護ステーションぽけっと
副会長(研修)	関本 貞治	みずたま介護ステーション
書記(研修)	大江 亮平	たんぽぽ介護
(研修)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(研修)	金子 洋平	ヘルパーステーション中野
(研修)	大江 亮平	たんぽぽ介護
(研修)	岩根 誠	クリオケアセンター
(研修)	秦 拓也	エイプレイス中野
(認知症)	五味 尚代	ヘルパーステーション中野の郷
(認知症)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(交流会)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(交流会)	白須 明日香	らいふ・ふれあい介護
(交流会)	田村 竜介	ケアセンター希
(交流会)	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
(交流会)	佐々木 美幸	東電さわやかケア中野

(令和7年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会	
6月	定例役員会 6/20 訪問介護交流会	
7月	定例役員会	
8月	定例役員会	
9月	定例役員会	
10月	定例役員会 意見交換会	
11月	定例役員会 介護の日PRイベント 11/13 なんでもセミナー講師協力	
12月	定例役員会 忘年会	
1月	定例役員会 1/16 なんでもセミナー講師協力	
2月	定例役員会 要支援についてのアンケート	

3月	定例役員会 3/30 福祉用具・訪問看護・訪問介護交流会	
----	---------------------------------	--

※開催場所は、スマイルなかの3階会議室 18:30～20:30 で実施

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
交流会費		0	
研修費		0	
合 計			50,000

○訪問介護部会活動総括

オンラインを併用しつつ毎月役員会を行い、それぞれの訪問介護事業所の状況などの情報共有を行いました。セミナーの講師協力や、交流会など外部との連携や協力を行えたと思います。介護の日も例年通り、介護のやりがいエピソードの配布を行いました。研修を行うことが出来ませんでした。来季に向けて研修のためのアンケートを行いましたので、来期に繋がればと思います。

3. 通所介護部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事 業 所
会 長	望月 仁弘	デイサービスセンター江古田の森
副会長	西川 陽平	デイサービス宙
運営委員	高森 千春	パルシステム東京 デイサービスセンター中野陽だまり「だんらん」
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
広 報	塚本 夏香	デイサービスセンターふじみ苑
	大草 良仁	SOMPO ケア新中野
研 修	西川 陽平	デイサービス宙
	田中 美抄子	中野共立診療所通所リハビリテーション
会 計	山口 幸美	松ヶ丘高齢者在宅センター
イベント	川井 美季	デイサービスひばり福寿苑
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら

(令和7年度活動報告)

日 程	活動内容	備考 (場所)
4月	全体会実施 総会	6名参加
5月	全体会実施	10名参加
6月	全体会実施	7名参加
7月	全体会実施	6名参加
8月	全体会実施	6名参加
9月	全体会実施	5名参加
10月	全体会実施 区との意見交換	
11月	全体会実施 介護の日	3名参加
12月	親睦会	
1月	全体会実施	6名参加
2月	全体会実施 研修	
3月	全体会実施	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師代		0	
その他		0	
合 計	50,000		50,000

○ 通所介護部会活動報告

通所部会の事業報告としては、役員の一部異動などがあり、次役員への引継ぎが中々うまくいかず、苦戦した1年でした。研修ができず、部会は全てを全体会で行ってまいりました。多くのメンバーに参加してもらえるように、開催日時を変更していきます。事業所の悩みを共有し活発的な通所部会にしていきたいと思っております。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	米倉 雄介	株式会社アースシステム
副会長・会計	上野山 成人	あけぼの介護センター
広 報	宮川 秀一郎	ケアヘルス中野
監 査	加藤 宗義	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	山路 尚範	株式会社アースシステム

(令和7年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4/18	事業所連絡会総会	
5/22	定例会	参加8名
6/19	定例会	参加6名
7/17	定例会	参加6名
8/21	定例会	参加6名
9/18	定例会	参加6名
10/24	中野区との意見交換会 定例会 ZOOM	参加6名
11/6・7 11/20	介護の日（中野区役所）福祉用具の展示 定例会	参加8名
12月		運営会議開催なし
2026/1/22	定例会 部会主催勉強会	参加5名
2/19	定例会 部会主催勉強会	参加6名
3/19	定例会	参加6名

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
雑費			
合 計	30,000		30,000

○福祉用具・住宅改修部会活動総括

令和7年度は、区議会各党の政策懇談会や中野区との意見交換会において、建設的な意見を提案することができました。

介護の日イベントでは多数の方々にお立ちよりいただき、福祉用具の体験機会を通して福祉用具に関する理解を深めていただくことができました。

また、他部会との合同で行った勉強会や福祉用具による「事故・ヒヤリハット」情報の事例をもとに勉強会を複数回行うことで、事故やヒヤリハットを回避するポイントを共有することができました。

引き続き区内のイベントに積極的に関わり、他職種の専門家と連携を取りながら、よりよいサービス提供ができるよう努めてまいります。

5. グループホーム部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会長・運営委員	羽鳥 竜生	グループホームコルテンが薬師の家
副会長・運営委員	奈良 亜香希	楽しい家 中野江古田
会計	林 麗紅	東京令和館

(令和7年度活動報告)

日 程	活動内容	備 考
4月	総会	
5月	定例会	
6月	定例会	
7月	定例会	
8月	定例会	
9月	定例会	
10月	定例会 政策懇談会	
11月	定例会 介護の日イベント	
12月	休み	
1月	定例会	
2月	定例会	
3月	定例会	

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代			
研修資料印刷代			
合 計	50,000	0	50,000

○グループホーム部会活動総括

令和7年度は定例会の開催場所を各グループホームにし、毎月開催場所を変えて行いました。普段は中々他のグループホームを見学する機会がないので、よい機会になりました。また、見学後の意見交換も当該施設長を中心に、よりリアリティをもった話し合いが行えました。介護の日イベントでは引き続き作品展に入居者の作品を展示し、多くの方に見ていただくことができました。一方で、昨年行えた研修会が行えませんでした。部会の参加率もあまり昨年と変わらず、参加率を上げていくことが課題です。

6. 訪問看護部会

(令和7年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	神野 真紀	あけぼの訪問看護ステーション
副会長	山田 万亀	ホームケア中野
副会長	椎名 真紀	ユーススタイルケア中野 訪問看護
副会長	佐藤 靖子	訪問看護リハビリテーションだるま
書 記	大脇 梢	ホームケア都立家政
書 記	角谷 奏穂	ケアプロ訪問看護ステーション
書 記	久保 貴恵	さくら訪問看護ステーション
会 計	松井 薫	中野区医師会訪問看護ステーション
会計監査	妻倉 真由美	新新渡戸記念訪問看護ステーション
連絡会	毛利 裕香	ひなた訪問看護ステーション中野
	鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション

(令和7年度活動報告)

日程	係	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 訪問看護部会 BCP（随時実施） 	看護部会での協議
5月	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 役員会 	新規連絡会参加者説明会あり
6月	<ul style="list-style-type: none"> 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 中野区地域精神保健連絡協議会（年2回未定） 訪問看護部会 東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年2・3回看護部会開催時） 	事業所連絡会 総会開催 予算活用検討（物品購入・交流会など）
7月	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 役員会 中野区防災訓練実行委員会（防災係） 	日程・実施内容確認
8月	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 訪問看護部会（懇親会含） 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 研修係 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 区西部緩和ケア部会 役員会 	看護師向け研修 役割決め・作業内容確認
10月	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 訪問看護部会 中野区防災訓練実行委員会（防災係） 	実施内容最終確認
11月	<ul style="list-style-type: none"> 中野区総合防災訓練（南部・北部） イベント係 介護サービス事業所連絡会（第3水曜） 役員会 	防災の日参加 外部との懇親会開催 介護の日開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> 中野区医療的ケア児等支援地域協議会 区西部緩和ケア部会 中野区地域精神保健連絡協議会（年2回未定） 訪問看護部会 東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年2・3回看護部会開催時） 	進行状況確認・編集内容協議 予算活用検討（物品購入も含む）

1月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・看護部会 ・区西部緩和ケア部会 	来期役員・係の検討・各係の活動報告提出まとめ・マニュアル見直し 編集内容最終確認・発行部数確認
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・研修係 ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・区西部緩和ケア部会 ・役員会 	全職種向け研修 今期活動報告提出 今期振り返り 来期役員・係決め
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・介護サービス事業所連絡会（第3水曜） ・訪問看護部会（懇親会含） 	総会に向けての準備 来期役員・係決定

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
看護師向け研修		20,600	
防災物品		3,564	
全職種向け研修		17,418	
合計	50,000	41,582	8,418

○訪問看護部会活動総括

令和7年度は奇数月の2ヶ月ごとに開催しました。開催時には連絡事項の伝達・BCPや法廷研修の周知（再確認）やグループワークによる現場での悩みなど、活発な意見交換がみられました。顔の見える関係作りができるように、訪問看護師・ヘルパー・ケアマネジャー向けの研修の実施や薬剤師会との懇談会の開催、訪問介護部会との事例検討を通じた交流会など、各連絡協議会へ参加し、外部の皆様との連携作りにも力を入れました。今後も地域の一員として皆様の力になれるよう、また訪問看護部会の役割が果たせるように取り組んでいきます。

7. 介護老人福祉施設部会

(令和7年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会長	松永 謙一	東京令和館中野
副会長	川村 将大	おたきほうむ
会計	中島 寛子、竹田 真司	江古田の森、弥生ホーム

(令和7年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	定例会	
5月	定例会、全体での情報共有（介護保険法全般、包括連携協定・地域包括ケア推進パートナーシップ協定（大塚製薬）について等）	オンライン
6月	定例会、全体での情報共有（介護職員の指導・育成について事例検討等）・施設見学	対面式（おたきほうむ）
7月	定例会、外部講師による合同研修会（採用活動・人材確保、外国人人材について等）	オンライン
8月	定例会、全体での情報共有（虐待防止について等）	オンライン
9月	定例会、全体での情報共有（ICT 機器の情報共有等）・施設見学、施設長交流	対面式（ハピネスホーム・ひなぎくの丘）
10月	定例会、全体での情報共有（感染症対応について等）	オンライン
11月	定例会、全体での情報共有（クレーム対応について等）、介護の日イベント	オンライン 区役所
12月	定例会、外部講師による合同研修会（施設防犯対策について等）・施設見学、施設長交流	対面式（中野すみれ園）
1月	定例会	
2月	定例会、外部講師による合同研修会（苦情・クレームとカスタマーハラスメント対策等）	オンライン
3月	定例会	

※定例会は全てオンライン

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		50,000
ガイドブック (400部)		21,220	
7/23 講師費用		20,440	
雑費		1,846	
合 計	50,000	43,506	6,494

○介護老人福祉部会活動総括

介護老人福祉施設部会は、リモートによる定例会や研修会に加えて、対面式の交流会を開催しました。対面式は計3回開催し、施設見学会も実施しました。顔合わせをすることにより、相談や連携が取りやすくなり、施設間の交流が図れていると思います。人材不足や育成などの課題は今後も継続していきますが、部会全体で課題解決に取り組む他、介護サービス事業所連絡会のイベント参加や他部会との交流にも積極的に参加できるように取り組んでいきたいと思ひます。

8. 小規模多機能型居宅介護部会

(令和7年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会長 (会計)	野澤 光太郎	倶楽部千代田會館
副会長	小畑 理恵子	えごだの家

(令和7年度活動報告)

日程	活動内容	備考
4月	4/25 定例会	オンライン会議
5月	5/22 定例会	オンライン会議
6月	6/26 定例会	オンライン会議
7月	7/24 定例会	オンライン会議
8月	8/27 定例会	オンライン会議
9月	9/24 定例会	オンライン会議
10月	定例会中止	オンライン会議
11月	定例会中止	オンライン会議

12月	12/19 定例会	オンライン会議
1月	1/22 定例会（来年度の役員決め）	オンライン会議
2月	2/25 定例会	オンライン会議
3月	3/25 定例会	オンライン会議

○会計報告

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		50,000
封筒代（50枚）		970	49,030
切手代（180円×50）		9,000	40,030
合 計		9,970	40,030

○小規模多機能部会活動総括

令和7年度は、オンラインでの部会開催を中心に活動しました。

定例会では、各事業所の現状、研修や営業の取り組みなどを共有、アイデアを出し合って、各事業所の状況改善が図れるよう取り組みました。

年度末になりましたが、昨年度作成した、小規模多機能型居宅介護のガイドブックを調剤薬局などに送付させていただきました。小規模多機能型居宅介護のPR活動に役立てばと思います。

当初、第4木曜の14:00～15:00に部会を開催していましたが、業務の都合が合わない事業所が出たため、6月から時間を13:30～14:30に変更して開催しました。

第1号議案—2

中野区介護サービス事業所連絡会2025(令和7)年度決算

単位:円

	科目	内容	7年度 予算額	7年度 決算額	差異額
1 収入	会費収入	@5,000円×119 @8,000円×58 @1,000円×13	1,071,000	1,072,000	1,000
	広報・啓発補助金		500,000	500,000	0
	2024年度繰越金		369,604	369,604	0
	利子収入		50	831	781
	合計		1,940,654	1,942,435	1,781

	科目	内容	7年度 予算額	7年度 決算額	差異額
2 支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、会場費等	80,000	25,757	△ 54,243
	部会活動費	8部会	380,000	130,102	△ 249,898
	イベント参加費等	介護の日パネル展示,ポスター・チラシ等	20,000	59,412	39,412
	介護サービス事業功 労者表彰	賞状用紙、筒、会場盛花等	130,000	23,798	106,202
	広報活動費	介護の魅力発信動画制作・広報活動に伴う費用(名刺・ 郵送代等)、区民向け広報・啓発、ホームページ運営費 用、のぼり作成等	560,000	486,110	△ 73,890
	事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000	710,000	0
	予備費		60,654		△ 60,654
	合計		1,940,654	1,435,179	△ 293,071

[収支差引額]

1,942,435円－1,435,179円＝507,256円

(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

上記の収支報告を監査した結果、適正に執行されていると認めます。

2026(令和8)年 4月 2 日

監事 駒野登志夫 

2026(令和8)年度事業計画(案)

I. 2026(令和8)年度 運営方針

令和8年度は、2025年問題を経て、地域包括ケアシステムの実効性が真に問われる1年となります。介護保険制度の持続可能性が議論される中、報酬改定や物価高騰の影響により、小規模事業所の経営環境は依然として厳しく、人材不足も深刻化しています。また現場の目線から、大きな課題となっているのは、介護が必要となった高齢者の「住まい」の問題です。

在宅生活の継続が困難になった際の受け皿の不足、身寄りのない高齢者の増加、空き家の活用停滞、不動産オーナー側の理解不足など、住まいを巡る課題は多岐にわたります。もはや介護事業者のみで解決できる問題ではなく、行政、医療、福祉、不動産、地域団体などとの連携強化が不可欠です。地域包括ケアの中核を担う私たち介護サービス事業所連絡会は、「住まいと介護」を結ぶ新たなネットワークづくりに積極的に取り組み、異業種との交流や情報共有の場を広げてまいります。

また、令和7年度より進めてきた規約改正作業により、介護サービス事業所連絡会及び各部会の規約を一本化し、組織運営の明確化と統一を図ります。部会ごとに異なっていたルールを整理することで、透明性の高い組織運営を実現し、全体最適の視点で連携できる体制へと移行します。さらに、同一メンバーに負担が集中する体制を見直し、役職や担当を循環させることで、組織の若返りと活性化を図ります。役割を担う経験は個々の成長につながり、その成長こそが介護業界全体の底上げにつながると確信しております。

本会は設立24年目を迎え、これまで築いてきた信頼と実績を土台にしながらも、変化を恐れず刷新を進める年といたします。中野区との意見交換会をより実効性あるものへ発展させ、現場の声を政策へ反映させるとともに、地域全体で高齢者を支える持続可能な仕組みづくりに取り組んでまいります。

【重要活動目標】

1. 中野区介護サービス事業所連絡会の新規約に基づき、適切な会の運営を進める。

令和7年度は規約見直しチームを立ち上げ、規約の見直しを行いました。令和8年度は新しい規約に基づき、現状に即した会の運営を進めていきます。

2. 地域関係機関や部会、職種を超えた交流と関係づくりの推進

部会や職種を超えた横断的な交流の機会を作り、課題の共有や情報交換等を行うことで、各部会活動の活発化と連携体制の強化を図ります。

3. 中野区との意見交換会の複数回開催

これまで意見交換会は年1回の開催で、現場の課題共有に留まってしまう部分があったため、全体の意見交換会開催後に課題ごとに小規模で意見交換会を開催することで、課題解決に向けた建設的な議論ができるようにします。

4. 介護の魅力発信

中野区の介護の魅力をより強く発信していくため、令和8年度も中野区と共同で「介護の日イベント」開催します。また、令和8年度はeスポーツを通じた介護の魅力発信にも取り組み、今まで届かなかった層にも介護の魅力を発信することを目標とします。

【昨年度実績】

- 中野区関係係との意見交換
- 中野区議会各会派と予算要望意見交換
- 中野区研修への関わり
- 物価高騰対策支援金支給へ寄与
- 中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催（第3回）
- 中野区役所庁舎内で「介護の日イベント」開催（中野区との共同開催）
- 区民に向け「介護の日イベント」で介護の魅力を発信
- 中野区役所ナカノのナカニワパネル展示
- 中野駅ガード下ギャラリー夢通り 小規模多機能部会パネル展示
- 東京都福祉局「フクシを知ろう！なんでもセミナー」（東京都立稔ヶ丘高等学校、大妻中野高等学校）へ講師派遣（正副会長、訪問介護部会、通所介護部会、福祉用具・住宅改修部会）

II. 各部会活動

1. 介護支援専門員部会

令和8年度活動

1. 地域連携担当（ケアマネジャーの地位向上）
2. 研修担当（ケアマネジャーの資質向上）

（令和8年度体制）

役職・役割	氏名	事業所	
会長（東京都区西部緩和ケア担当）	宮原 和道	NPOピクニックケア	1
副会長（事務局、会計兼事業所連絡会担当）	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所	2
	和田 和子	桜フローラル	3
北チーム	田中 文子	朝焼け中野事業所	4
	鶴田 初美	ケアサポートすずらん	5

		前島 慎也	しらさぎ介護保険センター	6
		福井 典子	鷺宮地域包括支援センター	7
		中條 知子	江古田ケアマネジメントセンター	8
				9
南 チ ーム		生沼 順子	中野地域包括支援センター	10
	(CMA T 担当兼事業 所連絡会担当)	平澤 多香子	介護ステーションぽけっと	11
	(東京都区西部緩和ケ ア担当)	廣野 紗矢香	ケアプロ在宅支援センター東京	12
		布川 文子	グリーンケア 中野	13
		益岡 伸江	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業 所	14
		皆川 明美	あおば	15
				16

※総会までに役員会にて追認も可

(令和 8 年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	役員会	中野区介護サービス事業所連絡会総会 (4/16)
5 月	役員会	日本ケアマネジメント学会 (5/23-24) 福井県
6 月	役員会	
7 月	役員会	
8 月		日本介護支援専門員協会全国大会 (8/22-23) 岡 山県
9 月	役員会	
10 月	役員会	主任ケアマネ連絡会 (案)
11 月	役員会	介護の日主任ケアマネジャー相談窓口 中野区総合防災訓練
12 月		主任ケアマネ連絡会 (案)
1 月	役員会	ケアマネ部会全体交流会・賀詞交歓会 (案)

2月	役員委員会	
3月	役員会	主任ケアマネ連絡会次年度事業計画

※役員会及び研修は、法定研修に沿いオンラインを優先とします。

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
広報費		10,000	
研修費		30,000	
交通費・活動費・通信費		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

※感染対策のため予算内で内容を流用する場合がある。

○介護支援専門員部会活動方針

全国的に、新規のケアマネジメントの依頼を断った経験が 54.5%あり、都心部では 65.5%にのびります。その理由は、ケアマネジャー不足が 46.9%、業務過多が 23.5%となります（2026/02/13 業界ニュースより）。

ケアマネジャーの減少により制度ありきでサービスの利用ができないことが無いように、ケアマネジャーの処遇改善、ケアマネジメントの業務の効率化、ケアマネジャーの魅力発信を、日本介護支援専門員協会・日本介護支援専門員連盟・東京都介護支援専門員研究協議会（ケアマネジャーの組織図添付）と連携し、情報交換しながら引き続きロビー活動を進めていきます。2040年問題を見据えた、地域に出ているケアマネジャーの育成を行います。その一つとして、他職種（他部会）にもケアマネジャーの業務を理解してもらいます（シルバー産業新聞業務の分類図添付）。

ケアマネジャーは、利用者から何でも相談して良いが、何でもしてくれるのではなく、適切な機関につなぐ役割です。

2. 訪問介護部会

（令和8年度役員体制）

役 職	氏 名	事業所
会 長(研修)	関本 貞治	みずたま介護ステーション
副会長(交流会)	江田 舞	介護ステーションぼけっと
副会長(研修)&会計	畑野 由樹	ケアリッツ鷺宮
(研修)	田山 美紀	みずたま介護ステーション
(研修)	金子 洋平	ヘルパーステーション中野
(研修)	岩根 誠	クリオケアセンター
(研修)	秦 拓也	エイプレイス中野
(認知症)	五味 尚代	ヘルパーステーション中野の郷

(認知症)	渡辺 文恵	ヘルパーステーション中野の郷
(交流会)	宇川 佳子	みつ葉訪問介護事業所
(交流会)	白須 明日香	らいふ・ふれあい介護
(交流会)	田村 竜介	ケアセンター希
(交流会)	飯田 梨沙	東電さわやかケア中野
(交流会)	佐々木 美幸	東電さわやかケア中野

(令和 8 年度活動計画)

日程	活動内容	備考
4 月	定例役員会	
5 月	定例役員会・交流会	
6 月	定例役員会	
7 月	全体研修	
8 月	定例役員会	
9 月	定例役員会	
10 月	交流会・定例役員会	
11 月	定例役員会 介護の日 P R イベント	
12 月	忘年会	
1 月	定例役員会	
2 月	定例役員会	
3 月	全体研修	

※開催場所はスマイルなかの 3 階会議室で、18:30~20:30 に実施する

○予算 (案)

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修費		45,000	
介護の日ポスター パネル代・カラーコピー代 交流会費		5,000	
合 計		50,000	0

○ 訪問介護部会活動方針

令和 8 年度はさらに研修や交流会などを通じ、他職種や同じ訪問介護事業所との交流を密にし、訪問介護が抱える問題が改善されるように行動していきます。

中野区での訪問介護の現状を意見交換やアンケート調査を行いながら把握し、介護現場の声を区に届け、共に対策を考えていきます。

交流会などを通じ各部会とより連携を深め、定期的な研修を行い、地域のヘルパー研修の技術・知識の向上を図ります。

3. 通所介護部会

(令和8年度役員体制)

役 職	氏 名	事 業 所
会 長	望月 仁弘	デイサービスセンター江古田の森
運営委員	川井 美季	デイサービスひばり福寿苑
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
広 報	高橋 祥子	パルシステム東京 デイサービスセンター中野陽だまり「だ んらん」
	山口 幸美	松ヶ丘高齢者在宅センター
研 修	内田 亮	サンサンフォレストアクティブ
	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら
会 計	澤井 幸恵	中野共立診療所通所リハビリテーション
イベント	西川 陽平	デイサービス宙
	趙 群	老人デイサービスセンターふじみ苑

(令和8年度活動計画)

日 程	活動内容	備考(場所)
4月	総会	
5月	全体会実施	
6月	全体会実施	
7月	全体会実施	
8月	全体会実施	
9月	全体会実施	
10月	全体会実施	
11月	全体会実施 介護の日	
12月		
1月	全体会実施	
2月	全体会実施 研修	
3月	全体会実施	

○予算(案)

単位:円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師代		30,000	
その他		20,000	
合 計	50,000	50,000	0

○通所介護部会活動方針

令和8年度も全体会を続けてまいります。参加者からの意見や悩みを共有していき、研修なども充実させていきます。部会が集まりやすい時間帯で、部会の開催を考えていきます。

また、悩みの共有や共感できるような内容を取り入れていきます。孤立させない通所部会にしていきたいです。

4. 福祉用具・住宅改修部会

(令和8年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	宮川 秀一郎	ケアヘルス中野
副会長・会計	山路 尚範	株式会社アースシステム
広 報	雨宮 誠	スリーディメンション
監 査	加藤 宗義	ダスキンヘルスレント新宿ステーション
書 記	富樫 崇徳	西川株式会社/ネーブルハウス練馬事業所

(令和8年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	事業所連絡会総会	
5 月	定例会	
6 月	定例会	
7 月	定例会	
8 月	定例会	
9 月	定例会	
10 月	中野区との意見交換会 定例会	
11 月	介護の日（中野区役所）福祉用具の展示 定例会	
12 月		
令和9年1月	定例会	
2 月	定例会	
3 月	定例会 部会主催研修	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	30,000		
広報費		10,000	

研修講師費		15,000	
その他(駐車場代等)		5,000	
合 計	30,000	30,000	0

○ 福祉用具・住宅改修部会活動方針

福祉用具専門相談員及び福祉用具プランナーは、ケアチームの一員として他職種や専門家と連携を取りながら、福祉用具に関する適切な知識の習得と適用に関する技術の向上を通じて、地域社会貢献に役立てるような活動を目指します。

- ① 福祉用具・住宅改修に関する理解を深めていただけるよう区内の活動(イベント)に積極的に参加していきます。
- ② 中野区の活動に協力していただける福祉用具事業所を増やし、情報の共有や連携を図り、福祉用具・住宅改修事業所の交流の場となるような部会活動を目指します。
- ③ 福祉用具専門相談員の知識・技術力の向上を目的とした部会内研修に取り組みます。

5. グループホーム部会

(令和8年度役員体制)

役 職	氏 名	事業所
会 長	鈴木 亨依	もえぎ中野白鷺
副会長・ 会計	加藤 ゆかり	グループホーム東京中野の家
副会長・ 会計	木村 圭子	グループホームえごた

(令和8年度活動計画)

日 程	活動内容	備 考
4 月	総会	
5 月	定例会	
6 月	定例会	
7 月	定例会	
8 月	定例会	
9 月	定例会	
10 月	定例会	
11 月	定例会	
12 月	定例会	
1 月	定例会/ガイドブック作成	
2 月	研修会	
3 月	GH 交流会	

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
研修講師代		30,000	
GH集いの会		10,000	
その他（予備費）		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○グループホーム部会活動方針

部会の出席率を上げることを目標とします。そのために今年度は講師を招いた研修会など趣向を凝らす予定です

引き続きガイドブックを更新（データでの配布）し、地域の皆様がグループホームを知るきっかけや理解、探す際の手助けにつなげ、部会内でも情報共有し、新規入居につなげていきます。

6. 訪問看護部会

(令和8年度役員体制)

役職	氏名	事業所
会長	神野 真紀	あけぼの訪問看護ステーション
副会長	山田 万亀	訪問看護ステーション ホームケア中野
	吉岡 穂香	CRAYONS プライベート看護
	椎名 真紀	ユーススタイルケア中野訪問看護
書記	角谷 奏穂	ケアプロ訪問看護ステーション東京
	大脇 梢	訪問看護ステーション ホームケア都立家政
	久保 貴恵	さくら訪問看護ステーション
会計	松井 薫	中野区医師会訪問看護ステーション
会計監査	妻倉 真由美	新渡戸記念訪問看護ステーション
連絡会	毛利 裕香	ひなた訪問看護ステーション中野
	石河 恵里子	Lea ケア訪問看護ステーション

(令和8年度活動計画)

日程	係	備考
4月	・訪問看護部会 ・BCP（随時実施）	
5月	・役員会	
6月	・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・中野区地域精神保健連絡協議会（年2回未定） ・訪問看護部会 ・東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年2・3回看護部会開催時）	
7月	・役員会	

	・中野区防災訓練実行委員会（防災係）	
8月	・訪問看護部会（懇親会）	
9月	・研修係 ・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・区西部緩和ケア部会 ・役員会	
10月	・訪問看護部会 ・中野区防災訓練実行委員会（防災係）	
11月	・中野区総合防災訓練（南部・北部） ・イベント係 ・役員会	
12月	・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・区西部緩和ケア部会 ・中野区地域精神保健連絡協議会（年2回未定） ・訪問看護部会 ・東京都訪問看護ステーション協会地区支部委員（年2・3回看護部会開催時）	
1月	・看護部会 ・区西部緩和ケア部会	
2月	・研修係 ・区西部緩和ケア部会 ・役員会	
3月	・中野区医療的ケア児等支援地域協議会 ・訪問看護部会（懇親会含）	

○訪問看護部会活動方針

部会を通じて、参加している訪問看護ステーション同士の連携を強化し、現場での課題に対する善策の検討をします。また、訪問看護師全体の質の向上を図るために研修等を実施します。他部会と意見交換を行いながら、協力関係をさらに強くしていきます。訪問看護部会として役割を充実させるべく、一丸となって取り組んでまいります。

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
講師謝礼		40,000	
その他（会場費、 雑費等）		10,000	
合計	50,000	50,000	0

7. 介護老人福祉施設部会

(令和8年度 役員体制)

会長	松永 謙一	(東京令和館 中野)
副会長	川村 将大	(おたきほうむ)
会計	竹田 真司 岡崎 麻美	(弥生ホーム) (浄風園)
中野区介護サービス 事業所連絡会運営委員	松永 謙一 川村 将大	(東京令和館 中野) (おたきほうむ)

(令和8年度活動計画)

* 対面式を年5回開催予定

日程	活動内容	備考
4月	定例役員会	
5月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
6月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
7月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
8月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
9月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
10月	定例役員会、合同研修及び情報共有	
11月	定例役員会、合同研修及び情報共有、 介護の日イベント	対面式
12月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
1月	定例役員会	
2月	定例役員会、合同研修及び情報共有	対面式
3月	定例役員会	

(研修予定)

日程	研修・交流会 内容
5月	物価高対策・補助金について (Web)
6月	介護職員の採用・交換研修について (対面式)
7月	(研修内容未定) (外部講師 Web または対面式)
8月	ICT 機器の情報共有① (対面式)、施設長交流
9月	虐待防止について (Web)
10月	感染症対応について (Web)
11月	二次避難所運営について (区担当者 対面式)
12月	AI 活用について (外部講師 対面式)、施設長交流
2月	ICT 機器の情報共有② (対面式)

○介護老人福祉施設部会活動方針

介護老人福祉施設においては、定期的に合同研修かつ情報交換を行い、中野区にある特別養護老人ホーム全体の適正な運営及びサービス内容の質の向上を目指していきます。

- ① 年 9 回の研修・交流活動を今年度も実施し、それぞれの事業所における課題解決に取り組めます。
- ② 役員は毎月定例会で情報交流等を行ない各施設の運営へ活かすものとします。
- ③ 中野区内の他の介護サービス部門と交流や連携を図ります。
- ④ 作成した特養ガイドブックの更新・作成を行います。

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
特養ガイドブック 製本費（600部）		30,000	
講師費用		20,000	
合 計	50,000	50,000	0

8. 小規模多機能型居宅介護部会

（令和 8 年度役員体制）

役職	氏名	事業所
会長	小畑 理恵子	えごだの家
副会長 （会計）	澁谷 龍之介	愛の家上高田

（令和 8 年度活動計画）

日程	活動内容	備考
4月23日	定例会	
5月28日	定例会	
6月25日	定例会	
7月23日	定例会（要望書作成）	
8月27日	定例会（介護の日に向けた取組）	
9月24日	定例会	
10月22日	定例会	
11月26日	定例会 介護の日イベント参加	
12月24日	定例会（事業計画・報告作成）	
1月28日	定例会（新規役員選出）	
2月25日	定例会	

3月25日	定例会	
-------	-----	--

定例会：第四木曜日 13時30分—14時30分予定（原則オンライン開催）

○予算（案）

単位：円

内 容	収 入	支 出	残 高
部会費	50,000		
リーフレット印刷		20,000	
リーフレット郵送		20,000	
ガイドブック印刷		10,000	
合 計	50,000	50,000	0

○ 小規模多機能型居宅介護部会活動方針

- ・令和8年度は引き続き、小規模多機能を多くの方に知っていただける様な仕組み作り（例えば、ガイドブック作成やリーフレットの送付、各地域の民生委員の集まりに参加など）をしていきたいと思ひます。
- ・令和8年度の研修会は、部会内の小規模多機能型居宅介護の施設間見学会、職員交流会を実施し、お互いの運営状況の理解、職員育成を促進していきたいと思ひます。
- ・定例会で、事業所間の情報交換をしっかりと行い、日々の運営に活かしていきます。
- ・中野区の介護の日イベントに積極的に参加し、小規模多機能型居宅介護の認知度の向上を目指します。

第2号議案—2

中野区介護サービス事業所連絡会2026(令和8)年度予算

単位:円

	科 目	内 容	8年度予算額	
1	収入	会費収入	@5,000円×120 @8,000円×60 @1,000円×5	1,085,000
		広報・啓発補助金		500,000
		2025年度繰越金		507,256
		利子収入		500
		合 計		2,092,756

単位:円

	科 目	内 容	8年度予算額	
2	支出	研修会費	全体研修に伴う講師謝礼、交通費等	80,000
		部会活動費	8部会	380,000
		イベント参加費用等	介護の日福祉用具展示、健康づくり事業、地域連携事業等	20,000
		介護サービス事業功労者表彰	賞状印刷代、筆耕代、通信費等	130,000
		広報活動費	介護の魅力発信事業、広報紙、パンフレット、ホームページ維持経費等・区民向け広報・啓発費、通信、ZOOMアカウント費	650,000
		事務局運営経費	人件費@1,000円×7H×80日、事務費150,000円	710,000
		予備費		122,756
		合 計		2,092,756

【実績】

○中野区関係係との意見交換○中野区議会各会派と予算要望意見交換○中野区研修への関わり○物価高騰対策支援金支給へ寄与○中野区介護サービス事業所連絡会 区長賞の開催（第3回）○中野区役所庁舎内で「介護の日イベント」開催（中野区との共同開催○区民に向け「介護の日イベント」で介護の魅力を発信
 ○中野区役所ナカノのナカニワパネル展示○中野駅ガード下ギャラリー夢通り 小規模多機能部会パネル展示○東京都福祉局「フクシを知ろう！なんでもセミナー」（東京都立稔ヶ丘高等学校、大妻中野高等学校）へ講師派遣（正副会長、訪問介護部会、通所介護部会、福祉用具・住宅改修部会）

2026（令和8）年度
 中野区介護サービス事業所連絡会 年間スケジュール

参考資料

月	全体の動き	正副会長会 /運営会議議題	各チームの動き	他
4月	4/16（木）総会		チーム編成及びメンバーの調整	
5月	新体制スタート 2026年度年会費納入依頼発送 2026年度区長賞推薦依頼発送 新運営委員ガイダンス	運営委員担当制 正副会長体制	広報紙発行 新チームでの取り組み開始	区長賞応募開始 部会長会
6月		政策懇談会に向けて（全体方針）	広報紙発行	介護の日イベント打合わせ
7月	○中野区との意見交換会 パネル展16～29日	政策懇談会に向けて（意見集約）		部会長会
8月	区議会・政策懇談会			区長賞応募 地域関係機関や部会を超えた交流会
9月	○未更新事業者への督促 ○上半期部会会計報告締切 ○会員事業所向け研修	意見交換会最終確認	広報紙発行	区長賞準備開始 全体研修
10月	○中野区との意見交換会 ○未加入事業所へ加入促進 夢通り 6～22日	介護の日準備等		
11月	介護の日啓発イベント12.13日 パーゴラエリア使用11～17日			
12月	運営会議お休み		広報紙発行	部会長会
1月	総会・基調講演について ○中野区との意見交換会 ○区民向け研修 ○部会予算、事業計画締切	総会準備		区民向け研修
2月	事業計画、予算（全体、部会）について	総会準備		
3月	事業報告、決算（全体） ○部会事業報告、会計締切	総会準備	広報紙	

※ 正副会長会の年間予定：毎月第二水曜日 午後3時～

※ 運営会議の年間予定：毎月第三水曜日 午後1時30分～ ZOOM及びスマイルなかの

2026年度 中野区介護サービス事業所連絡会 運営委員(案)

	氏名	所属	備考(前職等)
委員	花堂 浩一	株式会社アスモ、たんぽぽ介護	会長
委員	森 京子	みつ葉居宅介護支援事業所	副会長
委員	白岩 裕子	しらさぎ桜苑	副会長
委員	竹田 真司	やよいほうむ	副会長
委員	鈴木 靖夫	社会福祉法人ケアネット	副会長
委員	鈴木 法経	カリス訪問看護ステーション	運営委員
委員	星野 智光	こ・こけあ中野 居宅介護支援事業所	介護支援員専門員部会
★委員	平澤 多香子	介護ステーションぼけっと	介護支援員専門員部会
委員	関本 貞治	みずたま介護ステーション	訪問介護部会
委員	畑野 由樹	ケアリッツ鷺宮	訪問介護部会
委員	高橋 亮子	デイサービスセンター中野の郷ぷりむら	通所介護部会
★委員	川井 美季	デイサービスひばり福寿苑	通所介護部会
★委員	宮川 秀一郎	ケアヘルス中野	福祉用具・住宅改修部会
★委員	山路 尚範	株式会社アースシステム	福祉用具・住宅改修部会
★委員	鈴木 亨依	もえぎ中野白鷺	グループホーム部会
★委員	加藤 ゆかり	グループホーム東京中野の家	グループホーム部会
★委員	木村 圭子	グループホームえごた	グループホーム部会
委員	毛利 裕香	ひなた訪問看護ステーション中野	訪問看護部会
★委員	石河 恵里子	Leaケア訪問看護ステーション	訪問看護部会
委員	松永 謙一	東京令和館 中野	介護老人福祉施設部会
委員	川村 将大	おたきほうむ	介護老人福祉施設部会
委員	小畑 理恵子	えごたの家	小規模多機能型居宅介護部会
★委員	澁谷 龍之介	愛の家小規模多機能型居宅介護中野上高田	小規模多機能型居宅介護部会
委員	齊藤 稔	社会医療法人社団 健友会	
委員	佐藤 英郎	たんぽぽ介護	
委員	千正 英五	ごせい野方ケアステーション	
委員	下鳥 英雄	デイサービスサザンヒルズ	
★委員	秦 拓也	エイプレイス中野	
監事	駒野 登志夫	社会福祉法人 武蔵野療園	

中野区介護サービス事業所連絡会規約 変更案

平成17年4月1日制定

平成18年4月1日制定

平成20年4月1日制定

平成24年4月1日制定

令和 8 年 4 月 1 日制定

第一章 総 則

(名称)

第1条 本会は、中野区介護サービス事業所連絡会(以下「連絡会」という)と称する。

(目的・理念)

第2条 連絡会は、会員事業所相互の交流と連帯により、サービス水準の維持・向上を図るとともに
介護の魅力発信につながる取り組みと社会的サービス制度の改革などに資する活動を行う。
また、個々の会員事業所は利用者の代弁者としての自覚を持って、利用者の自立につながる
サービス提供の質の向上に努める。

(事業)

第3条 連絡会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研修事業
- (2) 調査・研究事業
- (3) 広報事業(機関紙発行含む)
- (4) 相談事業
- (5) 行政等との連携・提案活動**
- (6) 介護の魅力発信事業**
- (7) その他必要な事業

(組織)

第4条 連絡会の実務活動を推進するため運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は必要な担当委員を決め事業活動の執行と、組織維持活動を行う。
- 3 サービス事業所種別ごと、あるいは、課題事業活動ごとに必要な部会を設置する。
- 4 運営委員会のもとに事務局を置く。
- 5 事務局は、中立・公平性が保たれ、かつ公共性または地域密着性のある、安定した非営利の機関または組織内に置く。
- 6 事務局は、会員管理、会計管理、運営会議、会員総会開催時の実務その他を行う

第二章 会 員

(会員区分)

第5条 会員は、連絡会の活動理念・目的に賛同する介護サービス事業所などにより構成する。

- (1) 正会員 中野区内に所在する介護サービス事業所
- (2) 準会員 中野区外に所在する介護サービス事業所
- (3) 賛助会員 会の趣旨に賛同し協力する一般事業者及び個人

(会員単位)

第6条 同一郵便住所にて事業を行う事業所を一会員事業所とする。

(入会)

第7条 連絡会に入会を希望する者は、運営委員会に申込金を添えて入会申込書を提出する。

(会費)

第8条 会員は、会費規定に従って会費を納入しなければならない

(禁止行為)

第9条 中野区介護サービス事業所連絡会の名称を利用した政治活動・宗教活動、その他連絡会に不利益を生じる行為

(名称の使用)

第10条 連絡会の名称を使用する場合、後援又は共催の名義使用の届出をして運営委員会で協議し認められたら利用できる。

- 2 連絡会の名称または部会名を使用して要望または文書を関係機関に出す場合は、運営委員会で協議し認められたら利用できる。なお運営委員会に間に合わない場合は正副会長に報告して承認を得る。

(会員の資格喪失)

第11条 会員が次のいずれかに該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会をした場合
- (2) 会員が事業を廃止した場合
- (3) 1年以上会費を滞納した場合

(退会)

第12条 退会を希望する会員は、退会届けを運営委員会に提出して、退会することができる。

第三章 会費・入会申込金

(会費)

第13条 会費については会員総会によって別途定める。

(入会申込金)

第14条 入会申込金については運営委員会で別途定める。

第四章 役員

(運営委員)

第15条 運営委員は、総会で選任する。

- 2 運営委員は、各部会及び役員からの推薦、または正会員事業所に勤務する者の中から候補者を選出する。

- 3 運営委員の任期は、原則として1年間経過後の直近の総会までとする。ただし、次期運営委員を選任する総会が1年間経過前に開催された場合には、当該総会の時までとする。なお再任を妨げない。
- 4 運営委員に欠損が生じたときは、当該候補者を運営委員会の議決を経て後、次期の総会までオブザーバーとして運営委員会の参加を認めるものとする。

(役員)

第16条 連絡会は、以下の役員を置く。

- (1) 会長
 - (2) 副会長
 - (3) 監事
- 2 会長は運営委員会で運営委員の中から推薦・立候補を行い、選任されて承認を得る。
 - 3 副会長は会長が指名し、運営委員会で最終的に承認を得る。
 - 4 監事は総会において、正会員である事業所に所属し、勤務する者の中から選任する。
 - 5 運営委員は監事を兼任できない。

(職務)

第17条 会長は連絡会を代表し会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、また会長に事故等があるときはその職務を代行する。
- 3 運営委員会は、連絡会の事業活動を企画、執行する。
- 4 監事は運営委員会の会務執行状況を監査し、また会計を監査する。

(任期)

第18条 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠または増員により選任された役員任期は、前任者または現任者の残任期間とする。
- 3 会長、副会長、監事に欠損が生じたときは、運営委員の中から運営委員会において後任を選任し、直近の総会で承認を得なければならない。
- 4 第3項における後任の役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 会長の任期については、後進を育てることを目的とし、最長5年とする。再任は不可。

(報酬等)

第19条 運営委員および役員は、連絡会の職務の遂行に当たっては無報酬とする。

(運営会議)

第20条 運営会議は、会長が運営委員のほか監事、事務局員を召集して開催し、また必要な関係者に陪席を要請する。

- 2 運営委員会は、第2条に規定する目的及び第3条に規定する各事業内容の趣旨に沿って活動内容を定め、企画、予算及び調整等を行う。

第五章 総会

(最高議決機関)

第21条 会員の総会は会の最高議決機関とする。

(審議議決事項)

第 22 条 総会は、次の事項を審議し議決する。

- (1) 事業計画及び予算
- (2) 事業報告及び決算
- (3) 役員及び監事の選任
- (4) 会費
- (5) 規約の変更
- (6) その他重要事項

(種別と構成)

第 23 条 総会は、定期総会及び臨時総会の 2 種とする。

- 2 総会は正会員で構成する。

(開催)

第 24 条 定期総会は、年 1 回開催する。対面により開催するほか、必要に応じてインターネットその他の情報通信手段を用いて開催することもできる。

- 2 前項の方法により総会に参加した会員は、当該総会に出席したものとみなす。
- 3 オンラインによる参加者は、音声、映像、またはこれに準じる方法により意思表示を行うことで議決権を行使することができる。
- 4 臨時総会は運営委員会が請求をしたとき、または、正会員の 5 分の 1 以上から請求があったときに開催される。

(召集)

第 25 条 総会は会長が召集する。

- 2 会長は前条 4 の規定による請求があったときは、速やかに臨時総会を召集しなければならない。

(議長)

第 26 条 総会の議長及び副議長は、運営委員、及び監事を除き、正会員である事業所に所属し、勤務する者の中から選出する。

(定足数)

第 27 条 総会は、正会員の過半数の出席をもって成立する。

(議決)

第 28 条 投票権は、一会員事業所につき一票とする。

- 2 総会の議事は、出席した会員の過半数を持って決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委任状)

第 29 条 総会に出席できない場合は、議長もしくは他の正会員に、議決を委任する委任状を提出して出席に代えることができる。

第六章 部会活動

(承認)

第 30 条 会員及び運営委員会は事業種別ごとまたは、課題別の部会を組織して活動することができる

- 2 部会を組織しようとする会員は、運営委員会に活動目的及び活動方針を届出て承認を得なければならない。
- 3 活動方針は、部会の目的及主な活動内容、運営のルールを記載し、規約の作成は必要ない。連絡会の会員が、横のつながりや課題の共有をしながら、規約第2条の目的を達成するために、多くの会員が参画できる形で活動方針を策定する。

(役員の届出)

第31条 部会を円滑に運営するため、部会には部会長、副部会長、会計担当の役員を置き、その名簿を運営委員会に提出しなければならない。

- 2 部会の部会長の任期については、後進を育てることを目的とし、最長5年とする。再任は不可。

(予算配分)

第32条 本会計からの予算配分を希望する部会は運営委員会に、活動計画書及び予算書を提出しなければならない。

第33条 部会は定期総会にて予算案の承認を得た後に、部会費として予算配分を受けることができる。ただし、金額等については、運営委員会が定める基準のとおりとする。

第34条 予算配分を受けた部会は、定期総会にて決算を含めた事業報告を行わなければならない。

第七章 財産及び会計

(収入)

第35条 収入は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 入会申込金及び会費
- (2) 事業に伴う収入
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) その他

(財産の管理)

第36条 財産は運営委員会で定める事務局に委託して、会長が管理する。

(予算)

第37条 予算は総会において承認を得なければならない。

(会計年度)

第38条 事業及び会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終了する。

- 2 決算及び監査の確認は総会前に実施する。

第八章 補則

(委任)

第39条 この規約に定めるものの他、会の運営に必要な事項は運営委員会で協議し会長が定める。

- 2 前項の規定により定められたもののうち、すべてのものは、直近の会員総会で承認を求めなければならない

(守秘義務)

- 第 40 条 連絡会の活動により得られた成果のうち、特に秘密と指定されたものについては秘密を保持し、第三者に開示漏洩してはならない。
- 2 会員から提供された情報のうち、当該提供者があらかじめ秘密であると表示して提供された情報については、運営委員会での利用に限定するものとし、当該情報を秘密として保持しなければならない。
 - 3 守秘義務は、連絡会終了後も、前 2 項の秘密が公知となるまで有効に存続する。

附則

- 1 この規約は、平成 17 年 4 月 1 日より施行する。
- 2 中野区介護サービス事業所連絡協議会規約(平成 4 年 3 月 25 日成立施行、平成 15 年 5 月 30 日最終改正)は平成 17 年 3 月 31 日をもって廃止する。ただし、この規約改正時の役員の任期は平成 18 年 3 月 31 日までとする。
- 3 本会の事務局を社会福祉法人中野区社会福祉協議会内に置く。
住所 〒164-0001
東京都中野区中野5-68-7 スマイルなかの(中野区社会福祉会館)内

附則

- 1 この規約は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。

附則

- 1 この規約は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。

附則

- 1 この規約は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。

附則

- 1 この規約は、令和 8 年 4 月 1 日より施行する。

中野区介護サービス事業所連絡会 会費規定

平成 17 年 4 月 1 日実施

平成 20 年 4 月 1 日改正

会費

- 1 年会費として、単位事業所ごとに年度初めまたは入会時に納入する。
 - (1) 正会員（中野区内に事業所を有する介護サービス事業所）
 - 正会員 A(常勤・非常勤を含めた従業者の総合計が20人以下の事業所) 5,000円
 - 正会員 B(常勤・非常勤を含めた従業者の総合計が21人以上の事業所) 8,000円
 - (2) 準会員(中野区外のみ事業所を有する介護サービス事業所) 8,000円
 - (3) 賛助会員(会の趣旨に賛同し協力する一般事業所及び個人) 5,000円(一口)
- 2 途中入会
年度 第四半期に新規に入会する正会員の年度会費は半額とする。
- 3 一度納入された会費は返金しない。

中野区介護サービス事業所連絡会 入会申込金規則

平成 17 年 4 月 1 日実施

入会申込金

入会受付事務の手数料として徴収する。
入会審査 一件につき 1,000 円

中野区介護サービス事業所連絡会 部会費基準

平成 24 年 4 月 1 日実施

- 1 金額
 - (1) 原則として、1 部会につき 50,000 円を上限とする。
 - (2) 金額が上限を超える場合については、運営委員会にて協議・検討の上、結果を通知する。
- 2 報告
 - (1) 各部会は半期終了後に会計の中間決算報告を行う。